

特記仕様書

(別紙)

I サーバー及びソフトウェア	
1 性能	(1) サーバーの仕様については、下記のとおりであること
	OS: CentOS 7(1511) x86_64
	CPU: インテル Xeon E3-1270 v6 3.8GHz, 8M キャッシュ, 4C/8T, ターボ (72W)
	メモリ: 16GB
	HDD: 600GB 15000rpm SAS 2台 ホットプラグ対応
	RAID: RAID1
2 運用	(1) ネットワーク上で複数台の端末での運用が可能であり、クライアントライセンス・フリーであること
	(2) アプリケーションに同時アクセス可能なクライアントの数は無制限であること
	(3) サーバーは、当院内に設置し、クライアントで操作が可能であること
	(4) 導入後5年間のサーバメーカー保障であること
3 情報セキュリティ要件	(1) ログインはユーザーID、パスワードで行うこと
	(2) ユーザーIDによる利用制限が可能であること

II 原価計算	
1 基本要件	(1) 100以上のDPC病院における稼働実績があるアプリケーションパッケージであること
	(2) システムの月次運用を可能とするため、職員の作業・運用負担ができる限り軽減されるよう考慮されたシステムであること 国立病院・自治体病院での運用実績が50病院以上あること
	(3) 診療報酬の改定、各種バージョンアップの提供に伴うソフトウェアの更新は、クライアントから操作が可能であること
	(4) アプリケーションは、クライアントからWebブラウザ で参照できること
2 原価計算機能	(1) 原価計算の基本機能
	① 部門別原価計算が可能であること
	② 診療科別原価計算が可能であること
	③ 患者別・日別原価計算が可能であること
	④ 疾病別原価計算が可能であること
	⑤ DPC別・MDC別原価計算が可能であること
	⑥ DPC別原価計算ベンチマークが可能であること
	(2) 部門登録
	① 各部門の設定・登録及び変更が随時可能であること
	(3) 配賦基準
	① 収益及び費用の配賦処理において、下記項目及び任意の設定が可能であること
	ア 患者数比率
	イ 職員数比率
	ウ 医師数比率
	エ 面積比率
	オ 指定した勘定科目の比率
	カ 指定した診療行為(診療区分)件数(発生量)の比率
	キ 物品払出件数
	② 各部門における行為区分毎の原価の配賦処理においては、時間的・人的資源の投入を考慮して、標準的(中央社会保険医療協議会等)な等価係数(重み係数)を設定し配賦することが可能で、任意の等価係数の設定も可能であること
	放射線科 撮影の種類・携わる人数(給与費)・材料費等による等価係数
	臨床検査室 検体・整理・病棟等による等価係数
	手術室 診療科別・携わる人数(給与費)・所要時間等による等価係数
	給食部門 朝食・昼食・夕食・特別食による等価係数
	リハビリ科 リハビリの種類・所要時間等による等価係数
	③ 診療部門の活動を基にした手術料を中心に配賦することが可能であること
	④ 収益及び費用の配賦が随時変更可能であること

	(4) 帳票及びグラフ
	① 下記原価計算結果が帳票及びグラフで表示・出力が可能であること
	ア 部門別、診療科別、入院・外来別、患者別の収入構成
	イ 部門別、診療科別の費用構成
	ウ 部門別、診療科別の収支(損益)計算
	エ 損益分岐点分析(固定費と変動費を明記)
	② 患者別原価計算は、DPC別、MDC別、年齢別などに集計できること
	③ 診療科別原価計算は、損益分岐点、目標収益、患者数等のシミュレーションができること
	④ 毎月の原価計算の帳票を必要データ取得後、速やかに作成できること
3	経営分析機能
	(1) 以下の収支分析機能を有していること
	病棟別、診療科別、疾病別、医師別、年月日別、曜日別、病棟及び診療科別損益分岐点等
	(2) 以下の患者数分析機能を有していること
	① 実患者数分析 (病棟別、診療科別、医師別、入院・外来別、年月日別、年齢別、性別等)
	② 延患者数分析 (病棟別、診療科別、医師別、入院・外来別、年月日別、年齢別、性別等)
	③ 疾病別患者数分析 (診療科別、入院・外来別、年月日別、曜日別、年齢別、性別等)
	④ 入退院患者数分析 (病棟別、診療科別、医師別、年月日別、曜日別、年齢別、性別、入院数、退院数 在院日数、手術数等)
	(3) 以下の経営指標分析機能を有していること
	① 1日平均外来患者数(年月別、診療科別)
	② 1日平均入院患者数(年月別、病棟別、診療科別)
	③ 患者1人1日当たり外来収入(年月別、診療科別)
	④ 患者1人1日当たり入院収入(年月別、病棟別、診療科別)
	⑤ 在院日数分析(年月別、病棟別、診療科別、医師別等)

III 利益向上分析機能	
1	医学管理料等算定率向上機能
	(1) 表示機能
	取得したデータにより各種指導料・管理料の算定件数・算定金額・未算定件数・未算定金額・算定率を、全体・診療科別・患者別・病棟別に整理して表示できること
	(2) 分析機能
	① シナリオ
	選択したシナリオの目的・算定要件詳細・算定ロジック詳細を確認できること
	選択したシナリオに条件の合致する患者をリストアップし、データダウンロードができること
	選択したシナリオにて、具体的な改善行動指標となる目標値を設定できること
	選択したシナリオおよび目標値に対する自院の状況を具体的な数値をもって表示できること
	シナリオに従って実施する改善行動の成果の推移を具体的な数値をもって確認できること
	② 進捗確認
	同一シナリオによる他病院比較(ベンチマーク)ができること
	薬剤師1人あたりや、管理栄養士1人あたり、療法士1人あたりの他院ベンチマークも可能であること
	100床あたりの薬剤師人数の人員体制ベンチマークもできること
	③ 他病院比較
	同一シナリオによる他病院比較(ベンチマーク)は以下項目を含むこと
	・ 特定薬剤治療管理料
	・ 入院栄養食事指導料1
	・ がん性疼痛緩和指導管理料
	・ 肺血栓塞栓症予防管理料
	・ 退院時リハビリテーション指導料
	・ 薬剤管理指導料
	・ 麻薬管理指導加算
	・ 薬剤情報提供料
	・ 退院時薬剤情報管理指導料
	・ 特別食加算(糖尿食)

2 薬剤処方改善機能

(1) 現状把握

当院で使用している薬剤の状況を表示できること

(2) 薬剤切替比較機能

後発医薬品指数を他病院比較(ベンチマーク)ができること

対象期間・診療科による絞込みができること

銘柄数・薬価・入院と外来、入院と外来の後発品に分けて表示できること

それらを内用薬・外用薬・注射薬に分けてグラフで表示できること

任意選択した年月・薬剤使用区分より、診療科・入外・先発品後発品・薬効分類・

レセプトコード・医師コードを絞り込み、該当する薬剤の一覧を表示できること

薬剤毎の情報として、レセプトコード・レセプト名称・先発後発・薬効分類コード・薬効分類名称

処方実患者数・総量・薬価金額・金額割合・金額割合累計が表示できること

任意選択した使用薬剤に対する同薬効実績金額ランキングが表示できること

任意選択した使用薬剤に対する同薬効採用施設数ランキングが表示できること

任意選択した先発薬剤(後発薬剤あり)の対象となる後発薬剤一覧が表示できること

任意選択した使用薬剤の切替シミュレーションを、薬効分類コード・薬効分類名称

レセプトコード・レセプト名称より絞り込んで候補薬剤を表示できること

候補薬剤を選択後、それに切替えた場合の総量と薬価計が外来、入院、全体と分けて

表示でき、既存薬との金額差を確認できること

切替前後の後発医薬品指数に与える変化をグラフ表示できること

切替後の薬剤一覧を表示できること

3 指標分析機能

(1) 検索条件機能

対象年月を指定であること

対象患者を指定であること

診療科、退院時転帰、予定救急医療入院、DPC、MDC、手術、医師、年齢、在院日数別等の条件を And or 条件で検索が可能であること

D、E、Fファイル、様式1および電子レセプトを基にした診療行為明細データを And or 条件で検索が可能であること

(2) 表示機能

任意選択したデータをグラフ形式で表示、詳細数字は表形式に表示できること

検索条件機能を使い任意に指定した項目を、分母条件・分子条件としてそれぞれ指定できること

指定した分母・分子それぞれの症例サマリーを表示できること

指定した分母・分子で算出された指標を、グラフ表示できること

指定した分母・分子を、「分子と分母の和集合」「分子-分母の差集合」「分母-分子の差集合」

「分子と分母の積集合」「分子と分母の対象差」の5パターンで組み合わせ、症例一覧を

表示することができること

(3) 他病院比較

自由な指標作成機能により当院が自由に条件指定し作成した指標を、

同条件にて他病院比較(ベンチマーク)できること

また、他院が利用している指標条件を、共有するノウハウ共有機能があること

(4) 分析アシスト機能

任意選択した集計ロジックを保存することができること

改善手段に係る目的、算定要件詳細、算定ロジックの詳細条件が画面で確認できること

4 包括ケア病棟収益シミュレーション機能

(1) 条件設定機能

最大収益日数でのシミュレーション設定が出来ること

入院期間Ⅲ開始日でのシミュレーション設定が出来ること

全てのシミュレーション結果か、増収症例のみのシミュレーション結果表示が指定できること

DPC対象外病棟症例を除外できること

(2) 表示機能

対象年月を指定できること

診療科別、MDCⅡ別、MDC6別、DPC別に表示できること

帳票としての表示およびグラフ表示ができること

5 診療報酬改定シミュレーション機能

シミュレーション

DPCファイル上の収入実績を、新診療報酬点数に置き換えて収入

シミュレーションが出来ること

診療科別にシミュレーション出来ること